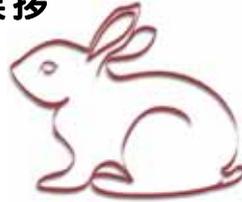




新年のご挨拶



NPO法人 alaクルーズ理事長 澤野 親 司

明けましておめでとうございます。alaクルーズ会員の皆さま並びに、日ごろから本会の活動にご支援いただいております皆さまにおかれましては、新しい年を健やかに迎えのことで、心よりお慶び申し上げます。併せて、昨年中に賜りました深いご理解、ご協力に対し厚くお礼申し上げます。さて、昨年を振り返りますと、alaクルーズにとって更なる躍進のため、変革する時期を迎えスタートの年であったと思います。

「自分たちの組織は自分たちの手で…」をスローガンに設立された「組織検討委員会」での新しいクルーズの形が提言されることが待ち望まれるところです。また、一昨年アールで開催された「文化経済学会<日本>」そして、昨年の「文化ボランティアコーディネーター養成講座 in 可児」と全国レベルの事業にスタッフとして協力し、参加された皆さまよりクルーズの活動に対して、高い評価が得られたことは大きな成果でした。今年は、alaクルーズのパートナーである(財)可児市文化芸術振興財団も公益法人に移行し、運営も様変わりすることが予測されます。また、富田市長が新しく誕生し、可児市の文化・芸術の振興に対して力を注がれることが望めます。alaクルーズにとって、昨年にも増して大変な時期になることが予測されますが、しかし、これまで培った経験や実績を踏まえ着実に進めていけば、自ずと拓かれていくことと信じております。今年一年が皆さまにとりまして充実した年になりますよう、心より祈念し新年の挨拶といたします。



今後とも宜しくお願いいたします。

alaクルーズと共に、これからも。

可児市文化創造センター館長兼劇場総監督 衛 紀 生

明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願いいたします。昨年末アールは、地域創造大賞(総務大臣賞)の栄誉にあずかりました。3ヶ年の実績が認められたことと思ひ喜んでおります。これは職員、alaクルーズのほか、清掃や警備、管理の外部委託の皆さんの日々の積み重ねが顕彰されたことと思っております。

「可児市文化創造センターala」の名は、東京を始め、多くの地域でも口の端に上るようになっていきます。各地の公文協からの「アールの経営手法を」という講演依頼が多いことでもそれが分かります。また、文化庁でのアールの評価は高まっており、文化部長以下、管理職の方々から「一度、アールを訪れたいのだが」というお言葉を頂いています。アールはこれから3年間で、日本を代表する地域劇場になります。そのためにも、alaクルーズのより一層の活躍が必要となってきます。地域創造大賞(総務大臣賞)の受賞を第一歩として、さらなる目標に向かって、アール職員一同もスキルアップをはかる所存です。

今後とも宜しくお願いいたします。





2010 イルミネーション

9月29日“2010イルミネーションプロジェクト”が立ち上がり第1回会議が開催されました。今年のテーマは何にしようか？ 色々な意見が出され、テーマは『静寂』、テーマカラー『ブルー・ホワイト』と決まりました。11月20日(土)の点灯式に間に合わせるため、毎週制作会議を開催し図案など出し合い、新聞紙で型紙を制作、型紙にあわせ針金で形を作ります。形に合わせて電球を配置、曲げたり、伸ばしたり、隠したり大変です。



「持っててよ」「おさえてて」「ここがつかない」。そんな苦労の中でやっと完成。これからが大変、設置場所へ運んで設置、仮点灯「つかん」「ここ変」大慌てで修正。「OKいける」「いいねすごい」「きれい」。後は本番を待つだけ。今までの苦労がふっ飛び、達成感がこみ上げてきます。「やってよかった」スタッフの気持ちが一つになりました。点灯式は申し込みのあった市内の小さな姉妹でした「10・9・8・・・3・2・1」点灯された今年のイルミネーション!! いっせいに歓声が上がりました。年末年始、休館日は点灯されませんが平成23年1月23日(日)まで点灯されます。



☆点灯時間 17:30～22:20 (1月は18:00から)



水面に写ったイルミネーション



スタッフがそろって

押えててよ
落ちるなよ



『NPOたけとよ』 視察研修に参加して

12月5日(日)alaクルーズ一行（参加者22名）が、田んぼの中に建つ町民会館ゆめたろうプラザに着きました。“NPOたけとよ”について「殆ど何の知識も先入観もなく」で、始まった視察研修です。alaクルーズとは全く異なった形態で、武豊町が文化創造プランに沿ってすすめる、学術文化、芸術振興事業の一部と、会館の窓口業務を中心とした管理運営業務の一部を武豊町から受託事業としており、それに加えてNPOたけとよの自主事業の企画・実施を行う組織です。交流会では理事長を



はじめ3名の会員、事務局の方から、組織、仕組み、業務内容など丁寧な説明をしていただきました。企画立案は常時リサーチを行い幅広く偏らないことを心がけ、また、地元企業や専門家と連携し事業毎にアンケートを取っている。会員の入会に制限はないが「この人はやれそう」と思う人を勧誘するので、やる気のある人が集まってくる。などalaクルーズにとって再認識すべき基本的なことであると思いました。事業としては全体的に質の高い、自主事業・音楽・演劇などの公演を実施する。印象的だったのは、『芸術と科学のハーモニー』です。行政や地元の企業・専門家の協力で芸術と科学を引き込んでしまう、面白い企画です。また、子どもたちのためのふるさとづくり企画も興味ある事業のひとつです。鑑賞事業はアウトリーチも含め内容的にはアールと大きな差は感じられませんでした。帰宅後、事業企画などすばらしいことが心に残っているの

ですがふと、気になったのは、ボランティアの姿、動きが見えてこないのです。中心になっている人たちは見えるのですが…もう少し現実的なことをお聞きすればよかったかな。全体を見たときハードからハートへという理念や街づくりの主体は住民という武豊町の総合計画は着実に成果をあげていると感じ取れました。事前に資料はいただきましたが、もっと勉強しておくべきだったと反省。この視察研修で多くのことを学び、我々alaクルーズも取り組むことが見えてきたような気がします。今後の活動に活かしていきたいです。



全員そろって



帰りの
味噌蔵見学



ala クルーズギャラリー展示

心にひびくものたち

今回の展示は、あまり観る機会のない盾と扉ですが、美しいもの、素晴らしいものは何にでも有るのです。表側も美しいですが、裏側もまた表に劣らず美しいものがあります。解説の時には裏側もお観せできると思いますので、その時間においで下さい。扉も様々な想いをこめて作られます。例えば、インドネシアやアフリカのものには乳房がついています。豊かな稔りを願ったのです。そして、インドネシアの扉の四角い文様は一筆書きで、豊作がいつまでも続くことを願ったのです。



alaクルーズギャラリー展示
心にひびくものたち

盾と扉



町田市文化創造センター ギャラリー
入場無料
2011年1月12日(水)～1月17日(月)
12・13・14・15日 10:00～17:00
16・17日 10:00～18:00
解説(日本語) 12・15・16日 10:00 & 14:00
主催 NPO法人 alaクルーズ
〒220-0201 町田市文化創造センター(11) 3414
TEL: 0427-24-2414

- 盾 アフリカ ケニア・タンザニア・スーダン・エチオピア
ナイジェリア・ザイール・カメルーン・ウガンダ
アジア インドネシア
扉 アフリカ コートジボアール
アジア アフガニスタン・インドネシア
材質は、皮・木・鉄・竹などの編組品です。

2011年1月12日(水)～17日(月)
10:00～17:00(土・日は18:00まで)
解説 12・15・16日 10:00 & 14:00

日本で唯一の笑刻家岩崎祐司の世界

笑・刻の世界

2011年2月19日(土)～27日(日)
10:00～18:00
美術ロフト 入場無料



言葉遊びをテーマとして思わず吹き出す
笑い・パロディ彫刻の数々約150点。
あなたはいくつ解るかな?



進む! 鬼岩 (28) alaクルーズ
ほんだいろし



編集後記

あけましておめでとうございます。今年は卯年。ピョンと飛び跳ねて明るい未来の展望が開けるようにしたいものです。alaクルーズも発足して10年目を迎えます。取り巻く環境も随分と変わりました。それに対応し、さらに飛躍するために、昨年からいろんな見直しに取り組んできました。その成果が実を結ぶ年でありたいと思います。新生alaクルーズでさらなる活動の輪を広げてまいりましょう。(O)

alaクルーズ事務局 TEL/FAX: 0574-61-3414
http://www.kpac.or.jp/alacrews/
Mail: ala-crews@kpac.or.jp